

独自の栽培方式でトマトの安定周年出荷を目指す

尾張農林水産事務所農業改良普及課

氏名 ぬかや つなき 糠谷 綱希さん

経営類 施設野菜（トマト）

市町村 稲沢市



糠谷 綱希さん

1. 経営概要

- (1) 経営規模 施設 2,000 m²
- (2) 労働力 本人、常時雇用1名、パート7名
- (3) 販売 全量直売（スーパー、ホームセンター、産地直売所等）

2. 就農までの経緯

平成22年から29年まで、農業用ハウスメーカーにおいて研究・開発部門に携わり、千葉大学等との共同研究においてトマト生産・研究を行う中で、自分の経験を現場で活かしたいと思い、生産者として施設園芸の世界に飛び込みました。また、栽培方式はメーカー勤務時代にマニュアル化した極少量培地耕のDトレイサンラックシステムを導入したいと考えました。

稲沢市において平成30年に青年等就農計画の認定を受けた後に、青年等就農資金を活用し2,000 m²の空きハウスを改修工事し、令和元年6月に経営を開始しました。

3. 現在の取組

現在は、Dトレイサンラックシステムを導入し、トマトの低段密植栽培をしています。令和3年度の収量は、トマト30t/10a、ミディトマト20t/10a、ミニトマト15t/10aを見込んでいます。

また、出荷先は直売所を中心に関東圏も含め現在80店舗ほど確保しており、それぞれの需要に対応することで売り上げの確保に努めています。



栽培風景

（左：大玉、右上：ミディ、右下：ミニ）

4. 今後の抱負

高品質のトマトを盛夏期も通して周年安定生産し、有利販売・独自ブランドを確立したいです。また、経営を安定させて新規就農者のモデルケースとなれるよう尽力していきます。